

入院患者実態調査 中間報告書 (概要)

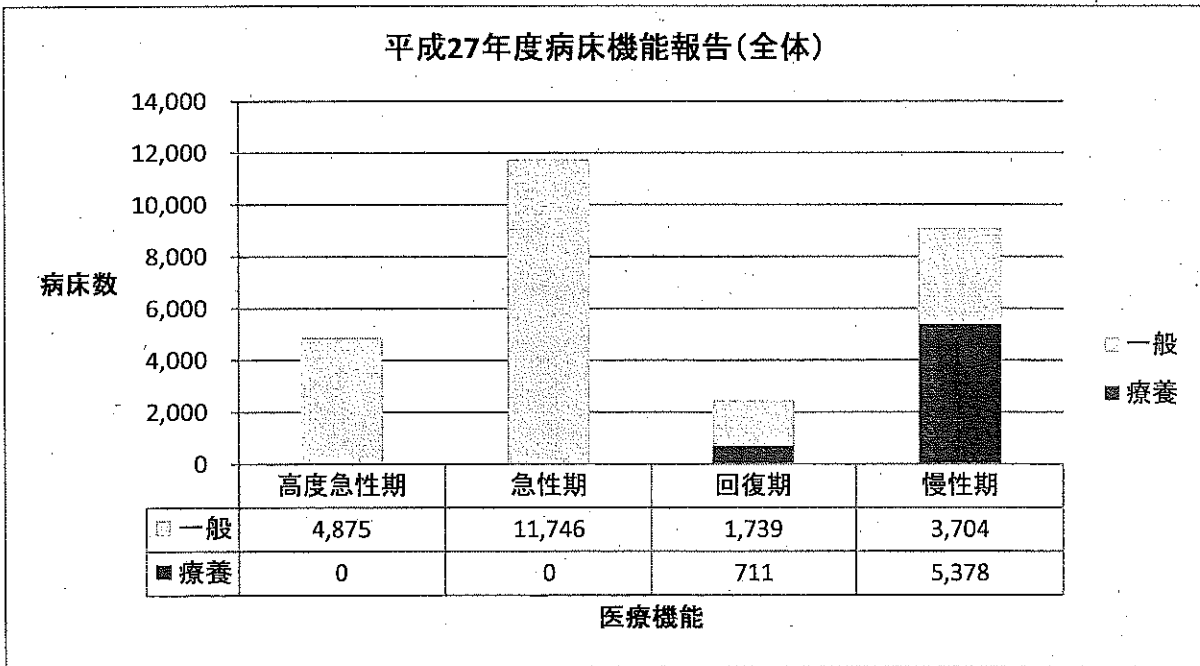
1 調査概要

- (1) 目的：地域医療構想の適切な策定に当たり、各病院が報告した平成 27 年度病床機能報告情報の把握、共有を図るとともに、病床機能別の実情や入院患者の実態把握を行う。
- (2) 手法：郵送調査
- (3) 期間：平成 28 年 1 月 8 日～1 月 22 日
- (4) 対象：医療法第 30 条の 13 の規定による病床機能報告対象病院
158 病院 (回答数：155 病院 回収率：98.1%)
- (5) 内容：
 - ①平成 27 年度病床機能報告に係る医療機能別病床数
 - ②医療機能別病床利用率
 - ③療養病床における医療区分別の入院患者数 ほか

2 調査結果概要

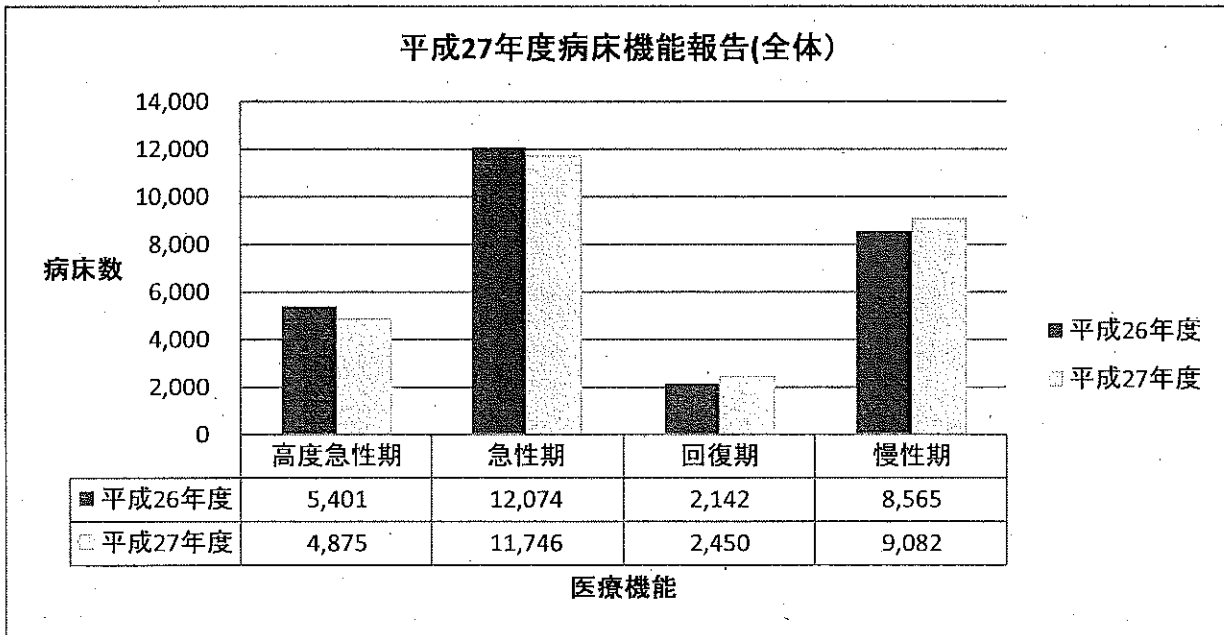
(1) 病床機能報告結果 (病院のみ)

各病院が、国に対し報告した「平成 27 年度病床機能報告 (平成 27 年 7 月 1 日現在)」を、府独自の实態調査でまとめた結果は以下のとおりとなっている。



(2) 病床機能報告の推移

平成 27 年 10 月に各病院から報告された各医療機能と比して、高度急性期、急性期機能が減少し、回復期、慢性期機能が増加した。



(3) 病床機能報告に係る 4 機能の選択基準について

病床機能報告に当たっては、国の報告マニュアルに沿って定質的な機能「医療機能の内容」による選択が大半である。

選択基準	回答数 (%)
病床機能報告「報告マニュアル」に基づく「医療機能の内容」	1 5 3 (98.7%)
地域医療構想策定ガイドラインに基づく「医療資源投入量」	1 (0.6%)
上記以外 (機能+資源投入量)	1 (0.6%)

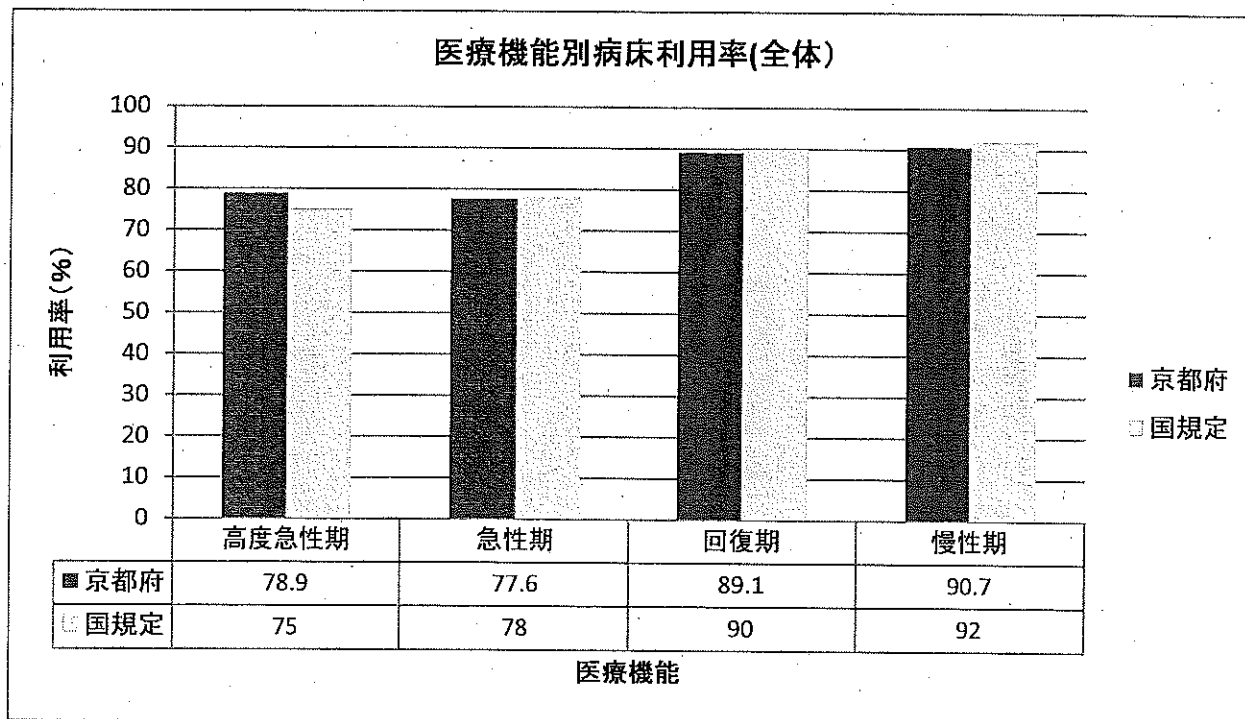
(4) 平成 27 年 7 月 1 日の基準日について

7 月 1 日の基準については、近畿厚生局への「施設基準等の届出状況等の報告」と同一基準日となっていることから、正しく反映しているとの回答が多くなっている。

	回答数 (%)
正しく反映している	1 2 4 (80.0%)
正しく反省していない	1 6 (10.3%)
無回答	1 5 (9.7%)

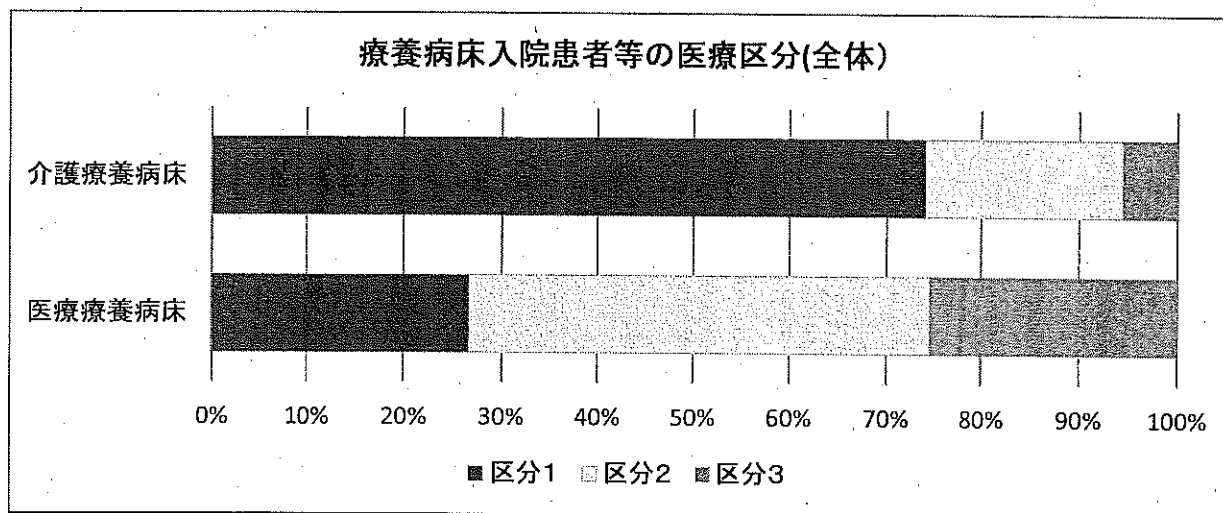
(5) 医療機能別の病床利用率

京都府における各医療機能の病床利用率（中央値）は、国が規定した利用率とほぼ同じ状況にある。



(6) 療養病床の入院患者等の医療区分の状況

京都府における介護療養病床、医療療養病床における医療区分1の割合は、介護療養病床 74.1% 医療療養病床 26.7% になっている。



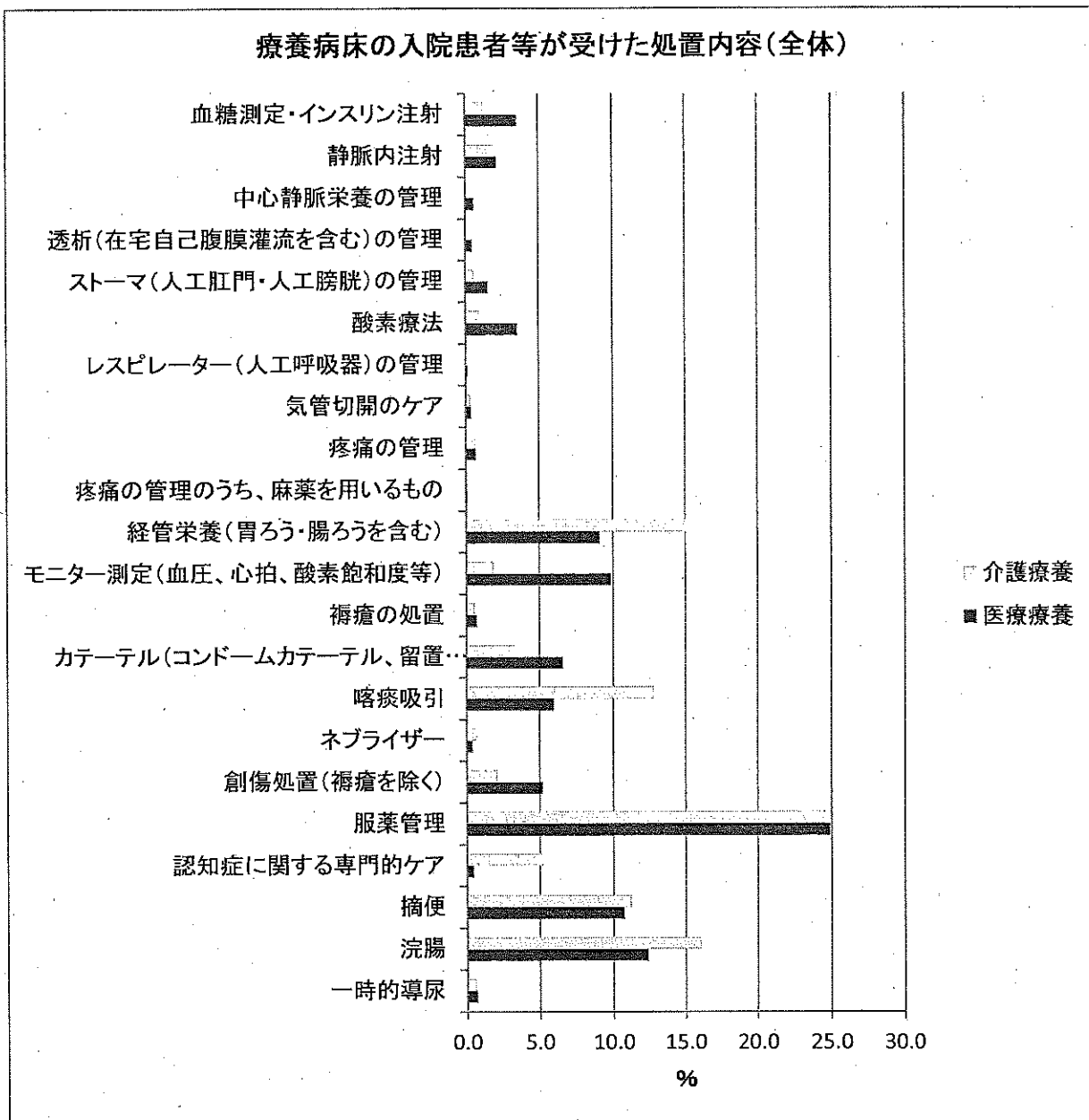
	医療療養病床	介護療養病床
区分1	26.7% (24.6%)	74.1% (59.4%)
区分2	47.9% (41.7%)	20.3% (19.0%)
区分3	25.5% (29.4%)	5.6% (5.6%)

() 全国平均

(7) 療養病床の医療区分1の入院患者等が受けた処置内容(複数回答)

介護療養病床の医療区分1の入所者では、①服薬管理、②浣腸、③経管栄養、④喀痰吸引、⑤
 摘便の順となっている。

医療療養病床の医療区分1の入院患者では、①服薬管理、②浣腸、③摘便、④モニター測定、
 ⑤経管栄養の順となっている。



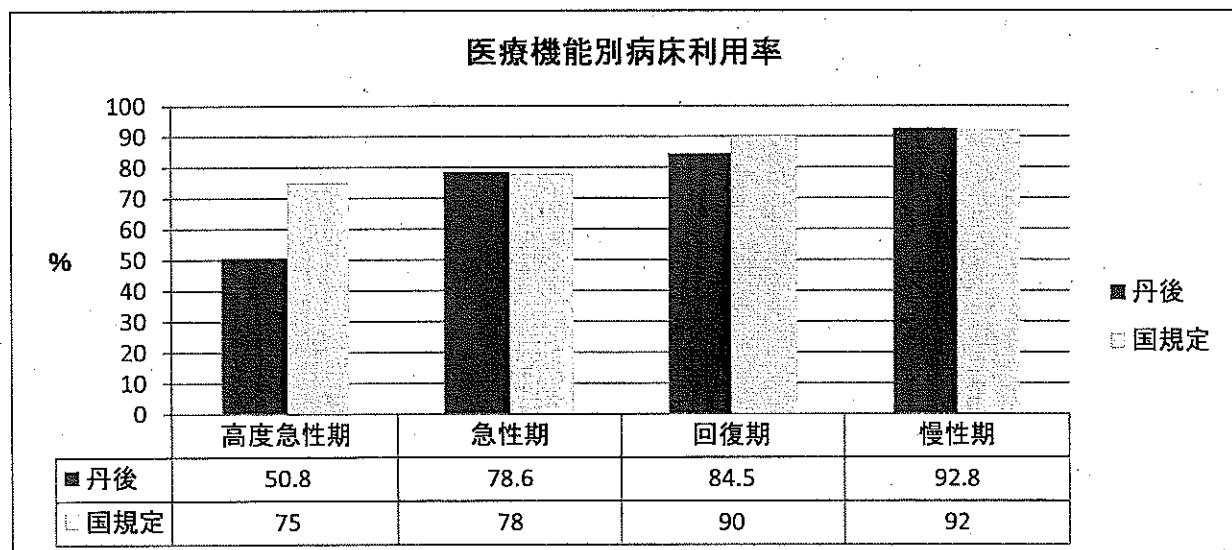
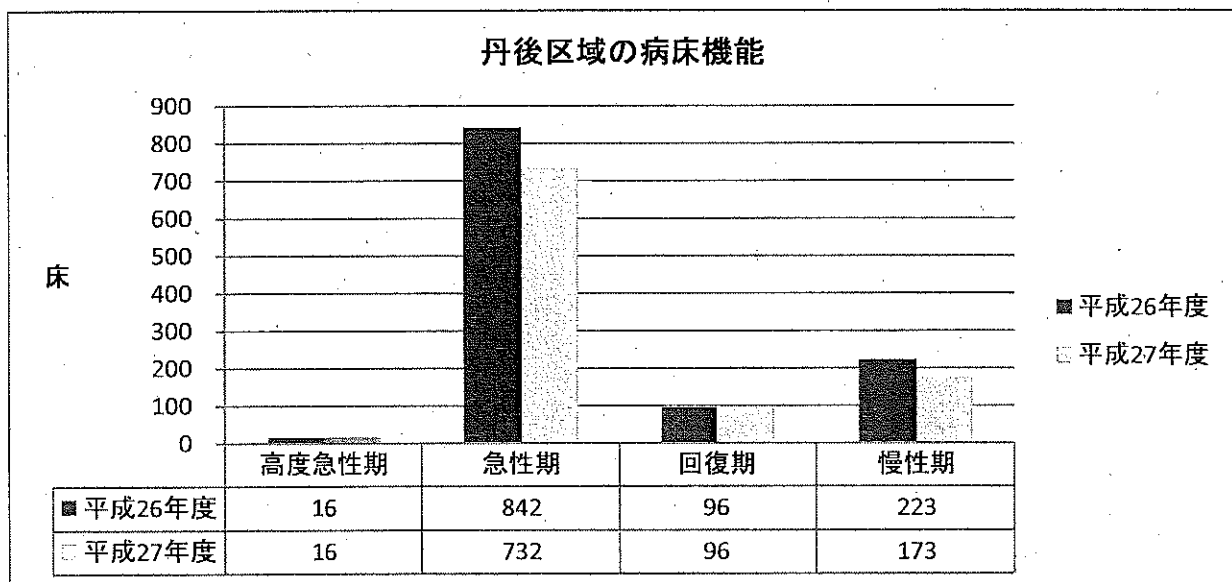
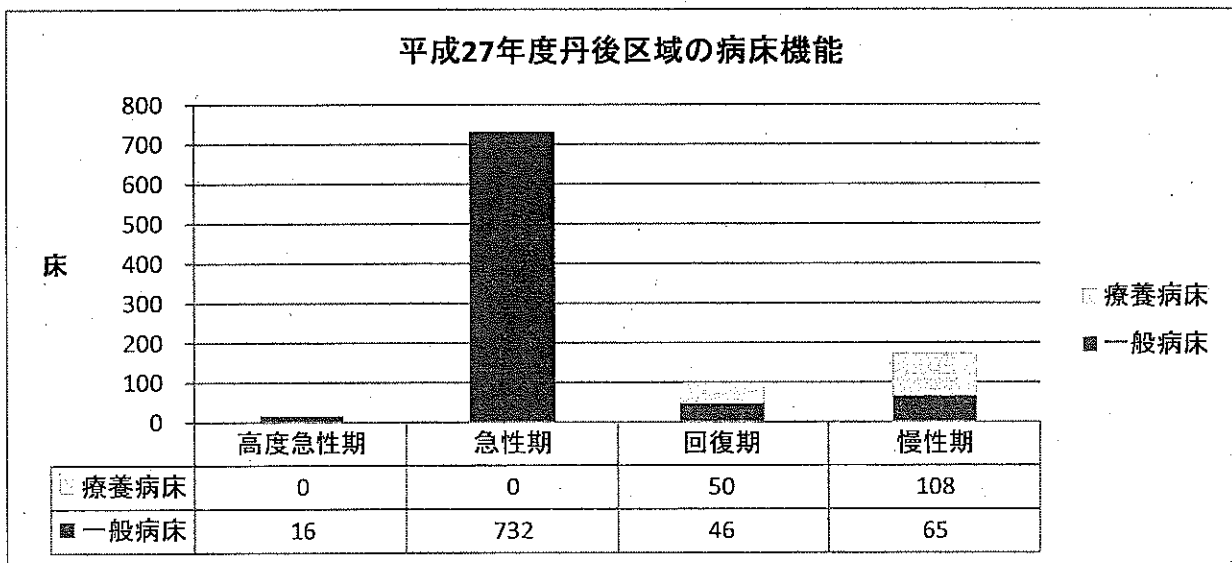
(8) 医療機能の分化・連携推進のために必要な取組みについて（複数回答）

医療機能の分化・連携を進めるためには、医療機能を転換するための施設・設備整備の必要性が多く、次いで、病床機能の分化連携・転換に係る職員研修等が多くなっている。

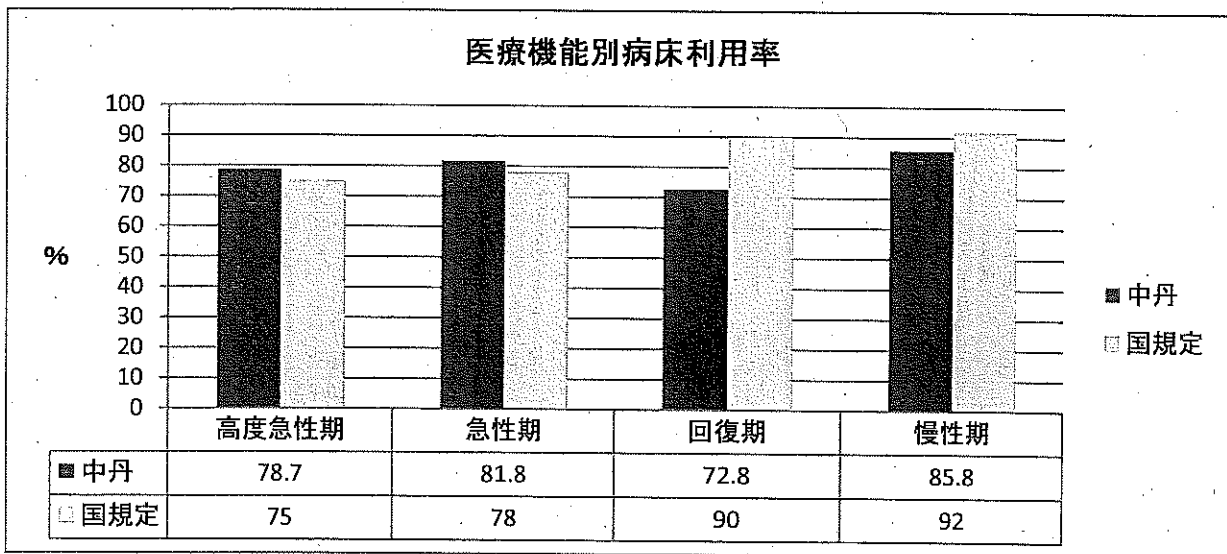
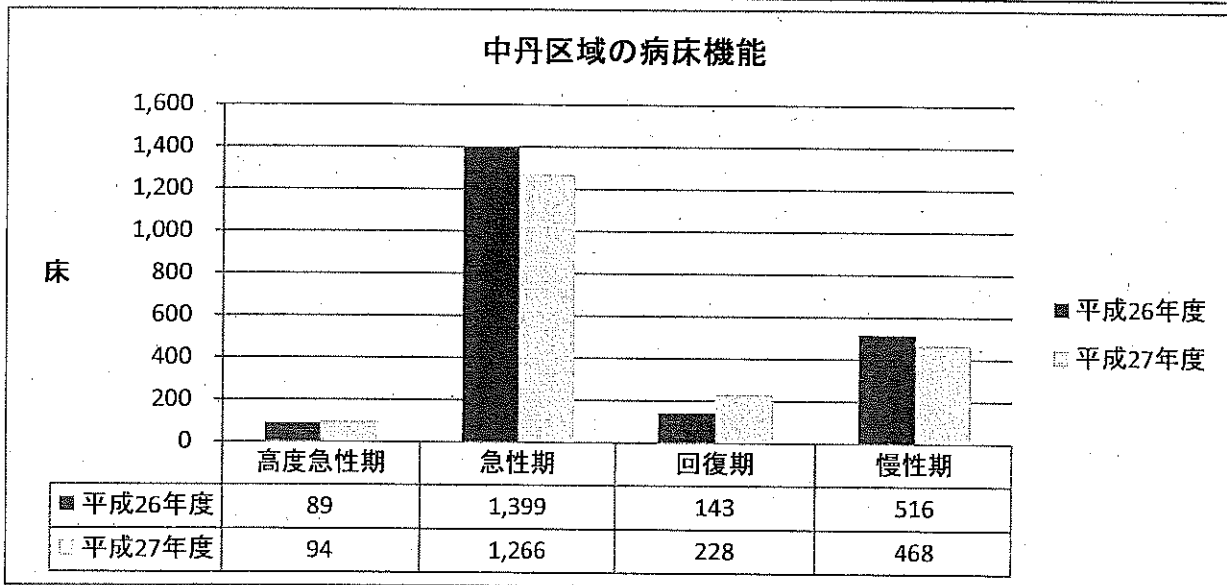
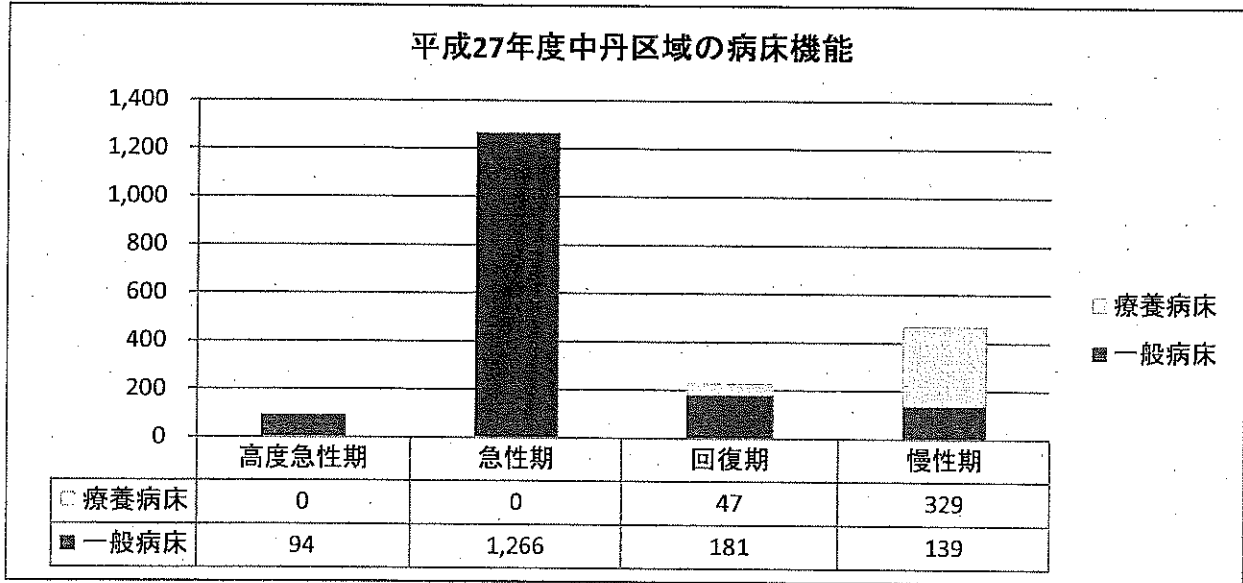
	回答数 (%)
病床機能を転換するための施設設備整備	120 (77.4%)
療養病床から介護施設等へ転換するための施設設備整備	29 (18.7%)
病院間、病棟間における歯科情報の共有	14 (9.0%)
病床機能の分化・転換に係る職員研修等	68 (43.9%)
その他	17 (11.0%)
無回答	15 (9.7%)

3 各構想区域の状況

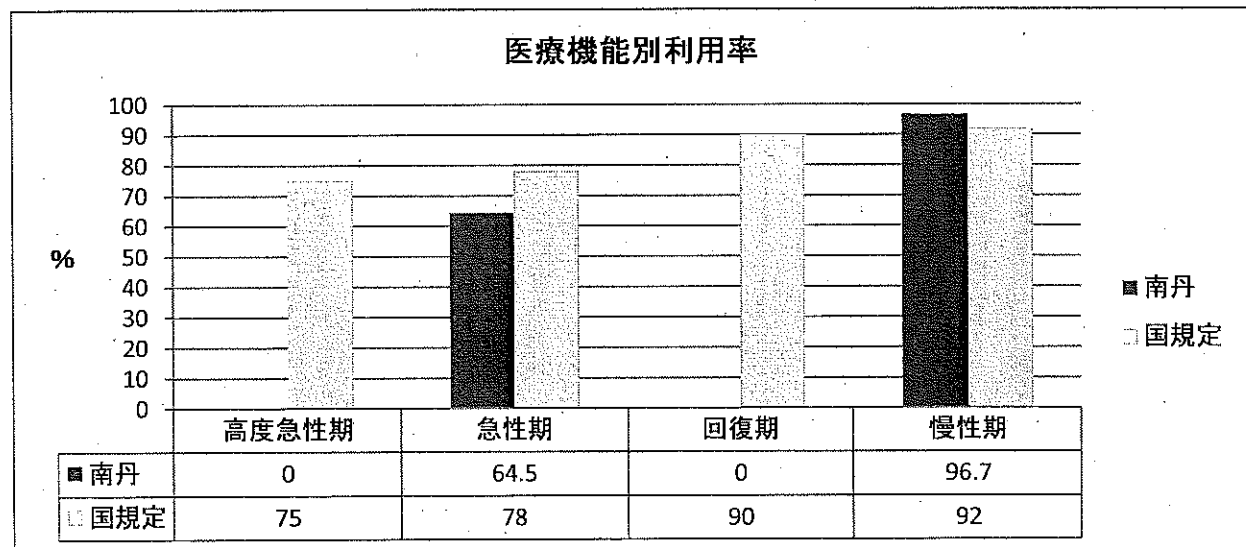
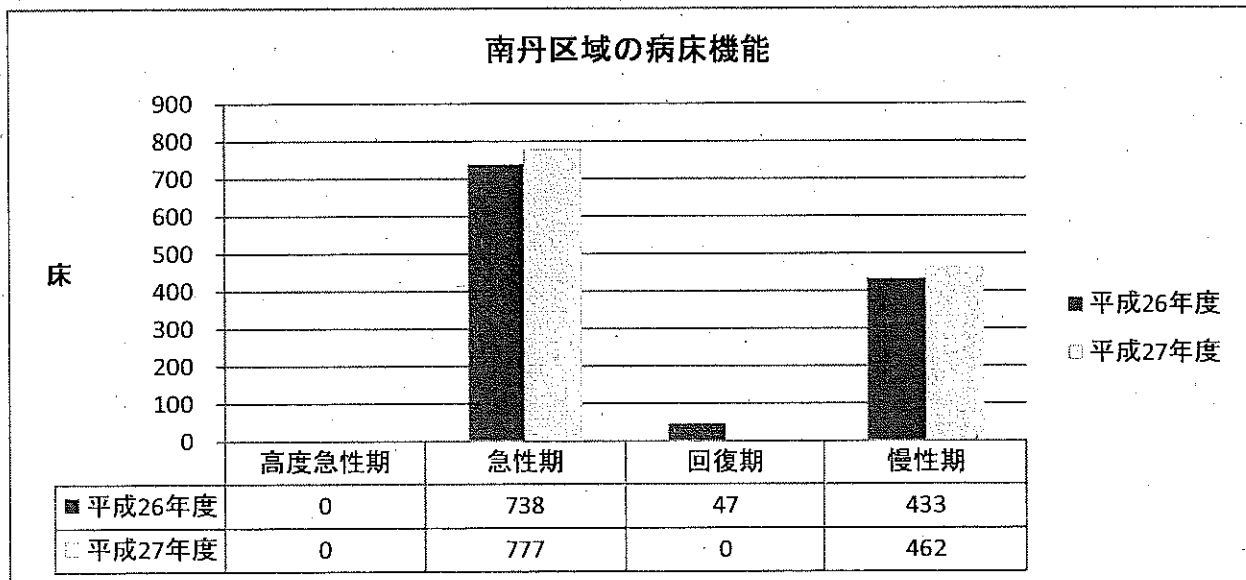
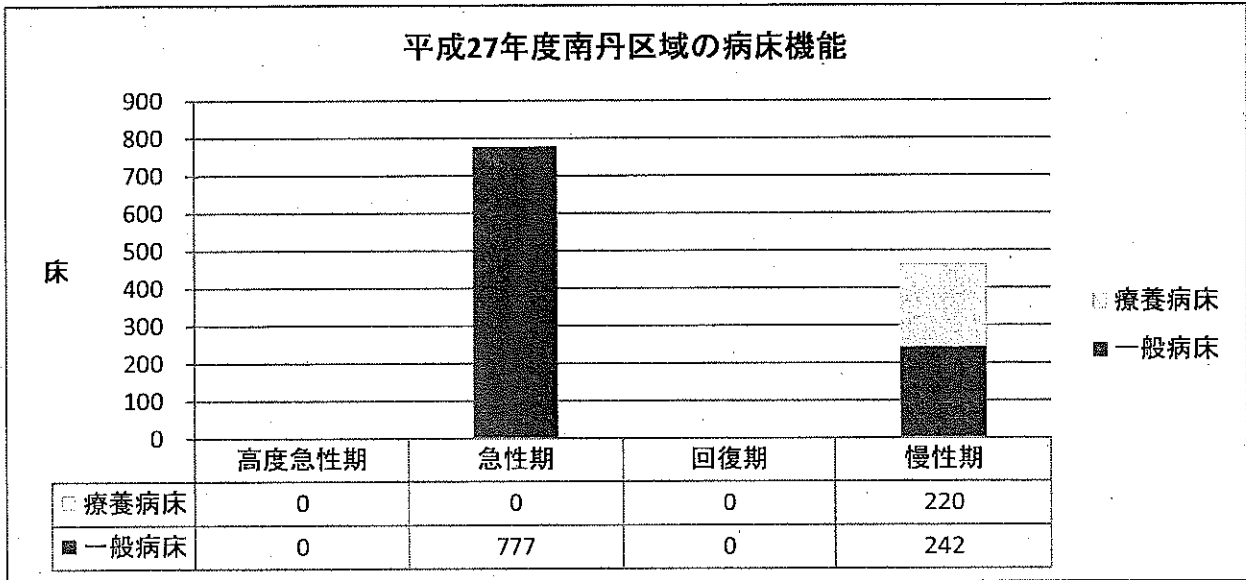
(1) 丹後構想区域



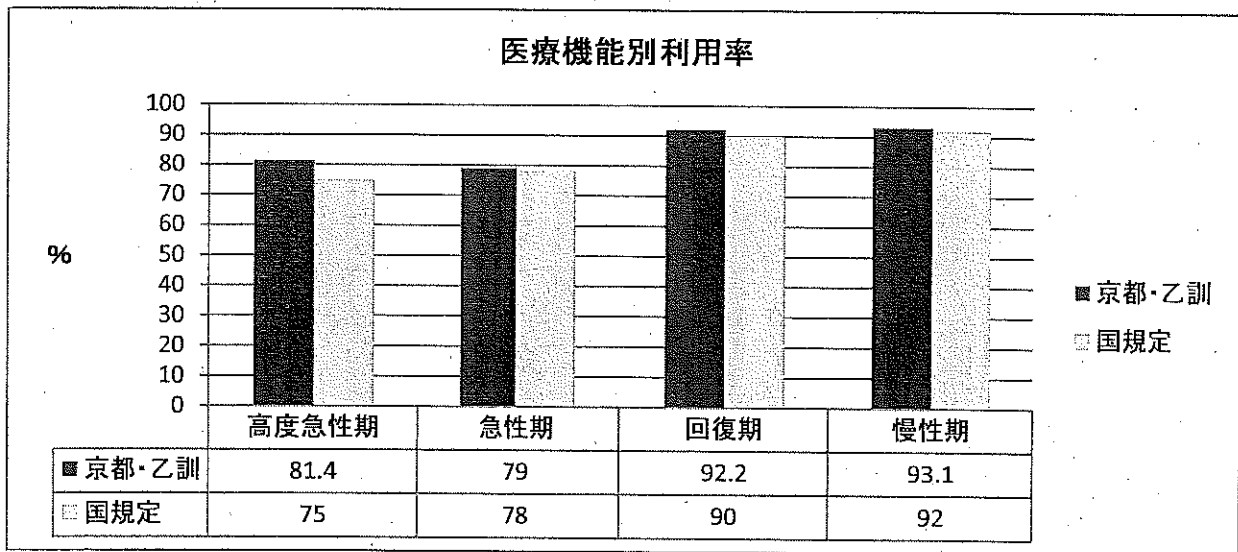
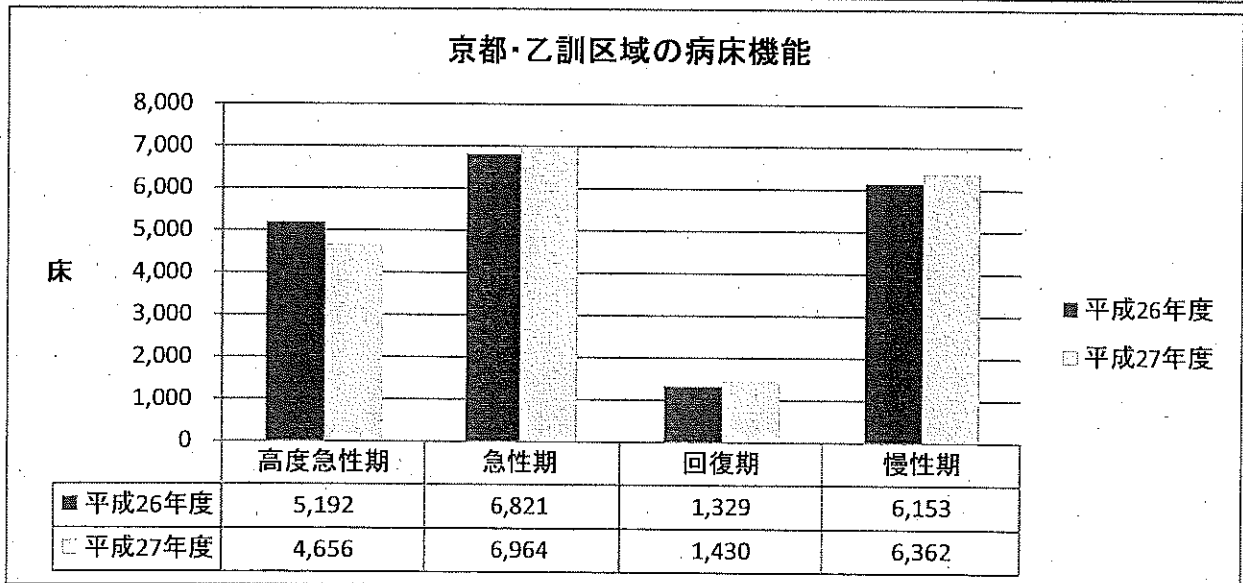
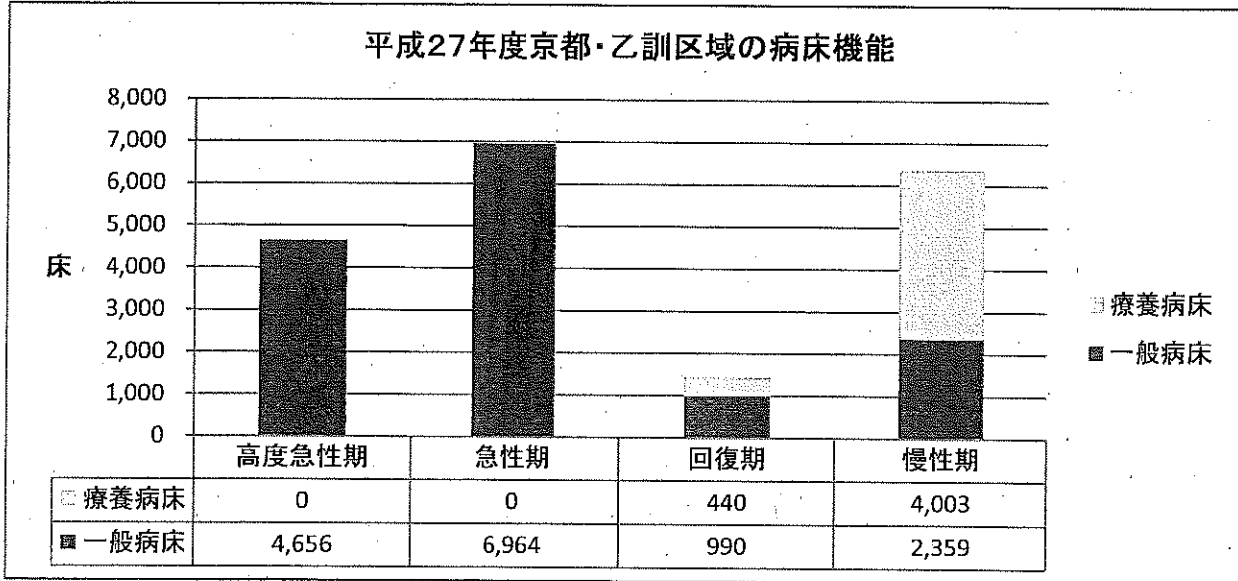
(2) 中丹構想区域



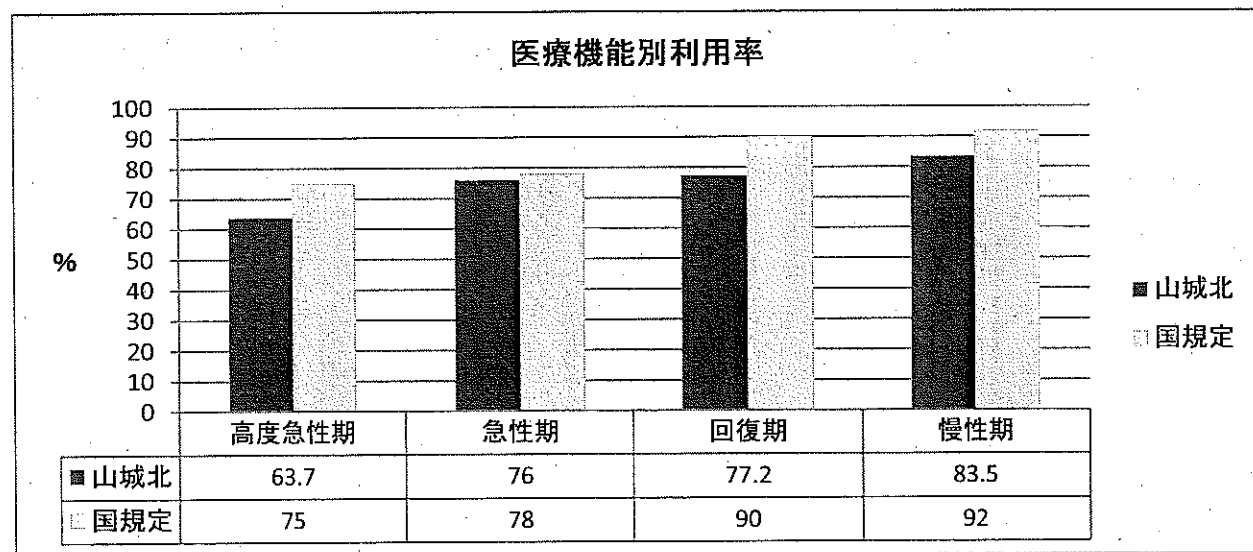
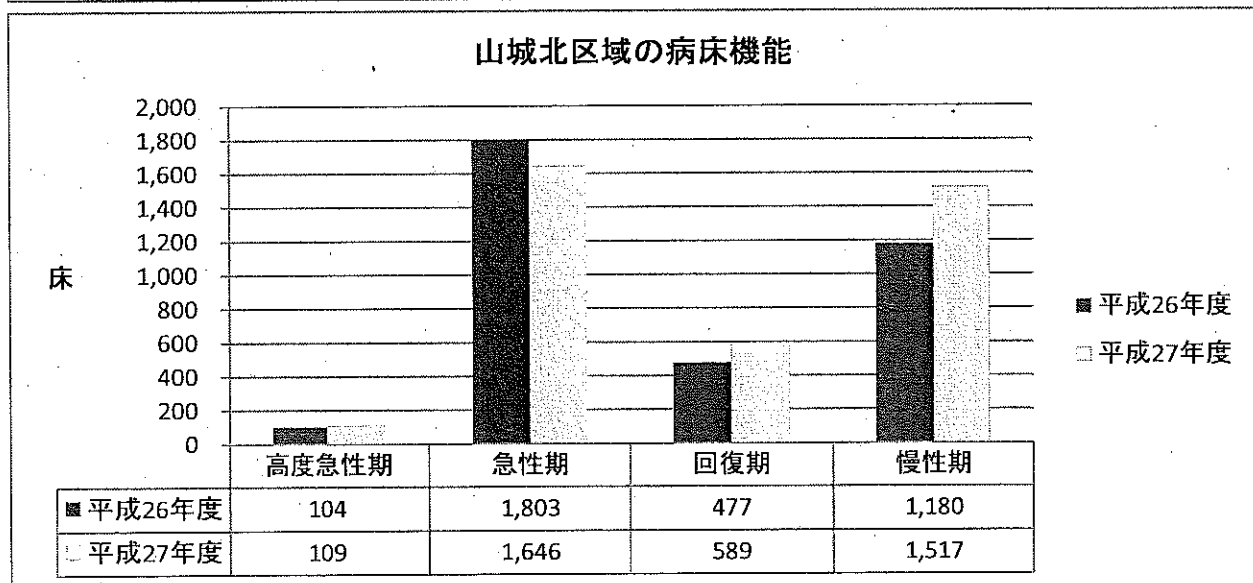
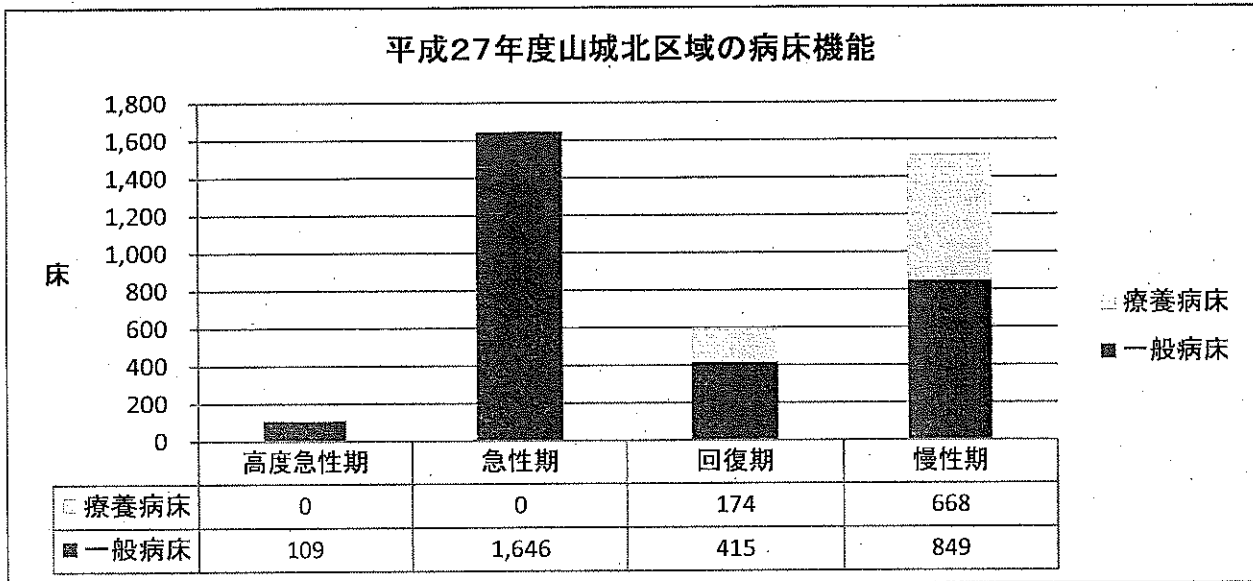
(3) 南丹構想区域



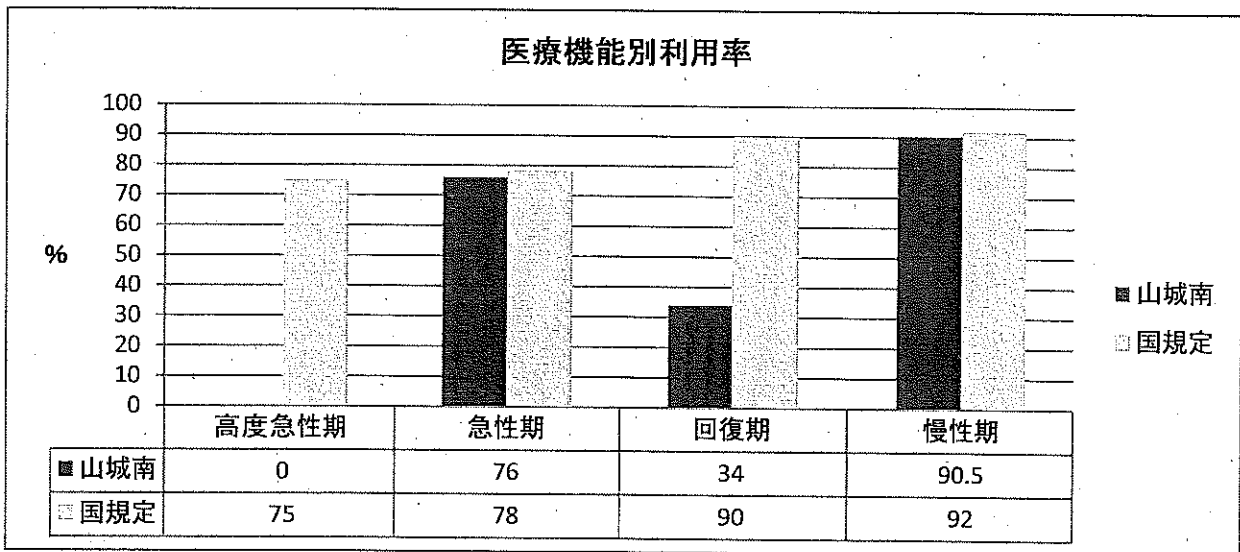
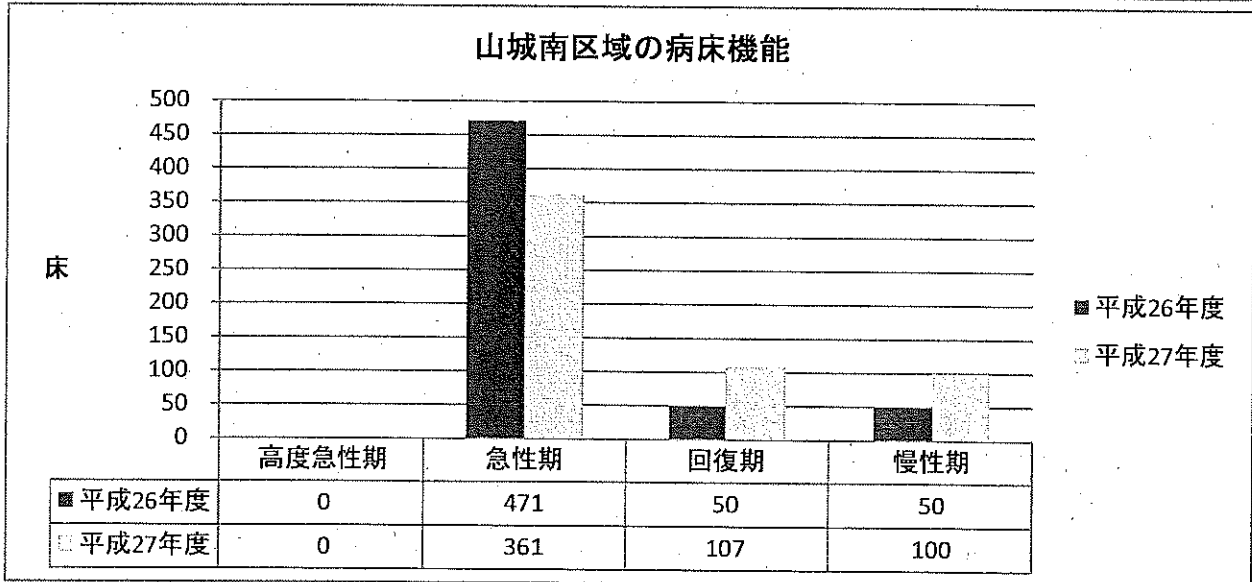
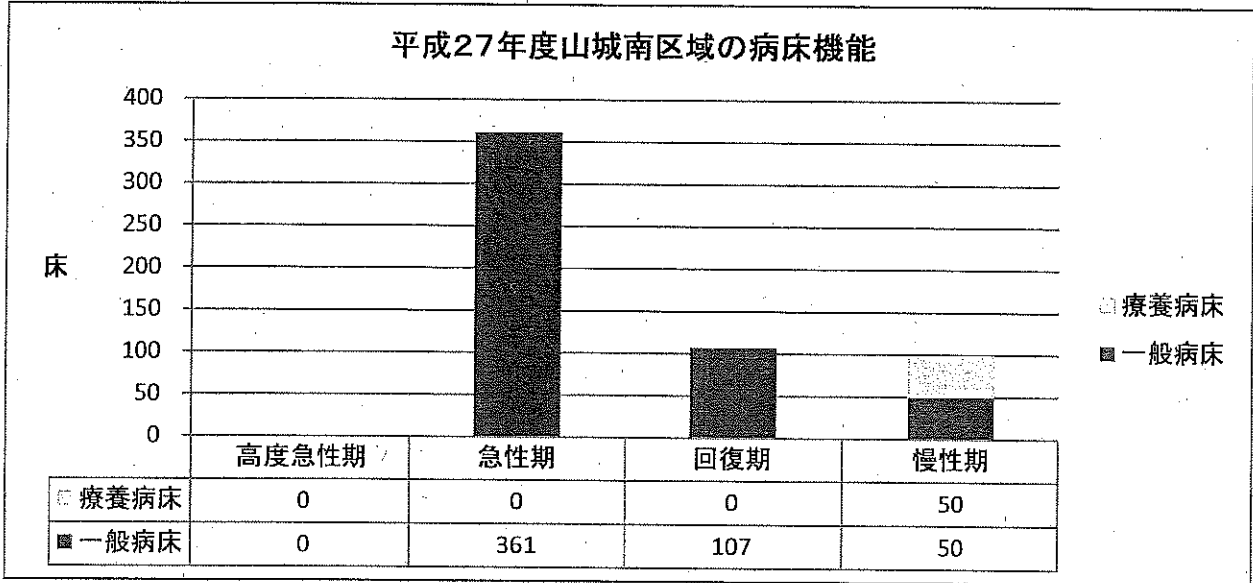
(4) 京都・乙訓構想区域



(5) 山城北構想区域



(6) 山城南構想区域



調査票

- 御回答いただきました内容は、地域医療構想策定のための検討資料として使用します。
- 御回答内容により拘束することはありません。
- 御回答は、平成27年度病床機能報告に基づき記入願います。

医療機関名			
所在地			
記入者氏名		電話番号	
許可病床数		床	
一般		床	
療養	床	うち介護療養病床	床

1 平成27年度病床機能報告(国制度に基づく報告)について報告された内容を改めて記入して下さい。

問1 医療機能別の病床数について、平成27年度報告の数値を記入して下さい。
※ 病棟単位で記入願います。

		全体	高度急性期	急性期	回復期	慢性期
一般病床	許可病床数	床	床	床	床	床
療養病床	許可病床数	床	床	床	床	床
合計	※ A	床	床	床	床	床

問2 医療機能別の入院患者数の状況(年間)について、平成27年度報告の数値を記入してください。

	全体	高度急性期	急性期	回復期	慢性期
①新規入院患者数(年間)	人	人	人	人	人
②在院患者延べ数(年間)	人	人	人	人	人
③退院患者数(年間)	人	人	人	人	人
④病床利用率	%	%	%	%	%
⑤平均在院日数	日	日	日	日	日

④病床利用率＝②在院患者延べ数÷365日÷病床数 ※病床数＝問1のA欄の数値

⑤平均在院日数＝②在院患者延べ数÷((①新規入院患者数+③退院患者数)÷2)

2 以下、京都府独自の調査項目です。

問3 病床機能報告に係る4機能の選択基準について、該当するものに「○」をしてください。

- () ①病床機能報告「報告マニュアル」に基づく「医療機能の内容」に基づいて選択した
- () ②地域医療構想策定ガイドラインに基づく「医療資源投入量」を算出し、選択した
- () ③それ以外の方法に基づいて選択した

③それ以外の方法の場合は具体的に記載願います。

問4 医療機能別の病床数及び在院患者数について、平成27年7月1日現在の数を記入してください。

※ 国の報告は病棟単位となっていますが、本調査票は病床単位で記入願います。

なお、何らかの事情により、平成27年7月1日現在で算出した場合に施設の状況を正しく反映していない場合は、同日に近い任意の日を設定していただき、その日現在の病床数及び在院患者数を問9に併せて記載願います。

平成27年7月1日の状況は、通常の施設の状況を（いずれかに○を付けて下さい）

- () ①正しく反映している
- () ②正しく反映していない(→問9も記載願います)

区分		全体	高度急性期	急性期	回復期	慢性期
一般病床	許可病床数(A)	床	床	床	床	床
	在院患者数(B)	人	人	人	人	人
	病床利用率(B/A)	%	%	%	%	%
療養病床	許可病床数(C)	床	床	床	床	床
	在院患者数(D)	人	人	人	人	人
	病床利用率(D/C)	%	%	%	%	%
合計	許可病床数(A+C)…E	床	床	床	床	床
	在院患者数(B+D)…F	人	人	人	人	人
	病床利用率(F/E)	%	%	%	%	%

問5 平成27年7月1日現在の療養病床の入院患者の医療区分の状況について、数値を記入してください。

	医療区分	患者数	割合
医療療養病床	医療区分1	人	%
	医療区分2	人	%
	医療区分3	人	%
	小計	人	%
介護療養病床	医療区分1	人	%
	医療区分2	人	%
	医療区分3	人	%
	小計	人	%

合計	人	%
----	---	---

問6 平成27年7月1日現在の療養病床の入院患者(医療区分1の患者に限る)が6月1日から6月30日の間に受けた処置内容について数値を記入してください。

処置内容	平成27年6月1日から6月30日までの間に左欄の処置を受けた患者数(複数回答)	
	医療療養病床 (医療区分1)	介護療養病床 (医療区分1)
血糖測定・インスリン注射	人	人
静脈内注射	人	人
中心静脈栄養の管理	人	人
透析(在宅自己腹膜灌流を含む)の管理	人	人
ストーマ(人工肛門・人工膀胱)の管理	人	人
酸素療法	人	人
レスピレーター(人工呼吸器)の管理	人	人
気管切開のケア	人	人
疼痛の管理	人	人
疼痛の管理のうち、麻薬を用いるもの	人	人
経管栄養(胃ろう・腸ろうを含む)	人	人
モニター測定(血圧、心拍、酸素飽和度等)	人	人
褥瘡の処置	人	人
カテーテル(コンドームカテーテル、留置カテーテル等)の管理	人	人
喀痰吸引	人	人
ネブライザー	人	人
創傷処置(褥瘡を除く)	人	人
服薬管理	人	人
認知症に関する専門的ケア	人	人
摘便	人	人
浣腸	人	人
一時的導尿	人	人

問7 病床機能の分化・連携を推進するために必要と思われる取り組みについて、「○」を記入をお願いします。

回答	事項(複数回答可)
	①病床機能を転換するための施設・設備整備
	②療養病床から介護施設等へ転換するための施設・設備整備
	③病院間、病棟間における歯科情報の共有
	④病床機能の分化・転換に係る職員研修等

⑤その他

問8 地域医療構想に対する御意見がありましたら、自由に記入してください。

問9 問4で「施設の状況を正しく反映していない」と回答いただいた医療機関のみ記載願います。
 平成27年7月1日付近における任意の1日の、医療機能別の病床数及び在院患者数を記載願います。
 ※ 国の報告は病棟単位となっていますが、本調査票は病床単位で記入願います。

(平成27年 月 日の状況で記載)

区分		全体	高度急性期	急性期	回復期	慢性期
一般病床	許可病床数(A)	床	床	床	床	床
	在院患者数(B)	人	人	人	人	人
	病床利用率(B/A)	%	%	%	%	%
療養病床	許可病床数(C)	床	床	床	床	床
	在院患者数(D)	人	人	人	人	人
	病床利用率(D/C)	%	%	%	%	%
合計	許可病床数(A+C)…E	床	床	床	床	床
	在院患者数(B+D)…F	人	人	人	人	人
	病床利用率(F/E)	%	%	%	%	%